

足もとから見つけるまちの自然

みなさんは「まちの自然」と聞いて、どんな自然を思い浮かべますか？ウトナイ湖などの豊かな自然と比べると見劣りするかもしれませんが、公園に咲く花、庭を行き来する虫、人工物で子育てをする鳥など、「まち」ならではの自然があります。身近な自然に目を向けて、苫小牧のまち(都市)の生物多様性について考えてみませんか？

みどころ02 クワガタの巨大模型

豊かな森が広がる苫小牧は、まちのそばでクワガタが見られることもあります。クワガタ類の標本とともに、約3mに拡大したミヤマクワガタの模型を展示します。



写真提供：堀 繁久

みどころ03 まちの中にある希少な自然を紹介！



元々、湿地が広がる原野だった苫小牧は、その名残である昔の自然がまちの中にも残っています。未来に残したい、貴重な自然を紹介します。

◎ 関連イベント

展示解説

担当学芸員による展示解説

【日時】 12.22(日)/1.19(日)
各回 11:00~11:30

【定員】 各回 20名(先着順)
【参加料】 無料(ただし、当日有効の観覧券が必要です)
【申込】 不要

event
01

生きもののトーク

「あつまれ！苫小牧のどうぶつの森
アオバトの巣やビジョンミルクについて学ぼう」

春から夏にかけて苫小牧の市街地に飛来するアオバトの暮らしについて、スライドや映像を使って分かりやすくお話しします。小学生から大人まで楽しめる講演会です。

【講師】 松岡和樹氏(株式会社地域環境計画)
【日時】 2.1(土) 10:00~11:00
【場所】 当館研修室
【定員】 30名(先着順)
【対象】 小学生以上
【申込】 1/7(火) 9:30 から
電話(0144-35-2550)または当館受付にて

event
02

みどころ01 まちで見られる生き物を一挙展示！

苫小牧のまちで見られる「植物」「ほ乳類」「昆虫」「鳥」などの生き物を、2000点以上の標本やはく製、写真などを使って紹介します。気になっていた身近な生き物の正体が分かるかもしれません。



▲ 植物の立体乾燥標本



▲ クロスズメバチの仲間



▲ シマエナガ



▲ キタキツネ



▲ 飛来するアオバト

みどころ04
苫小牧のまちの上空に飛来するアオバトの暮らしや、在来種のタンポポがどこに残っているのかなど、最近の調査結果を紹介します。

アクセス



◆お車で越しのお客様

国道276号(支笏湖通)と国道36号の交差点(「苫小牧信用金庫中野支店」かど)を港方向へ曲がり、交差点の次の信号を右折。出光カルチャーパーク内に駐車場(料金無料、約50台駐車可)があります。最寄りのインターチェンジは「苫小牧中央IC」です。

◆バスで越しのお客様

苫小牧駅南口より、のりば①から「24番」「高速バスカップ号」「登別温泉線・苫小牧市立病院行」、のりば②から「04番」、のりば③から「08番」「12番」に乗り、「出光カルチャーパーク」で下車(所要時間約10分、料金230円)、下車後徒歩約5分

苫小牧市美術博物館

Tomakomai City Museum【愛称：あみゅー】

〒053-0011

北海道苫小牧市末広町3丁目9番7号

TEL: 0144-35-2550 / FAX: 0144-34-0408

https://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/hakubutsukan

✉tomakomai_amyu 📱www.facebook.com/tomakomai.museum

苫小牧市美術博物館



公式ホームページ